

論文講座Ⅰ．（質的研究） 担当講師名 加藤 誠之

勤務校：高知大学教育学部

最終学歴：東京大学大学院教育学研究科博士課程満期退学

博士論文：思春期問題としての不登校—自我体験に関する現象学的解明を手がかりとして—（2018，東京大学）

研究分野：生徒指導論・矯正教育学

主著：2018年2月，ミネルヴァ書房『現場から福祉の課題を考える—子どもの豊かな育ちを支えるソーシャル・キャピタル—新時代の関係構築に向けた展望—』（共著，ミネルヴァ書房，2018）

主論文：不登校経験者にとっての他者と自由—『存在と無』におけるサルトルの「遊び」論を導きの糸として—（『教育哲学研究』第109号，2014）

【講座へのコメント】

日々の実践の中でふと「あれ？」と思い、心に残るエピソードに出会います。私たちはこうしたとき、平凡な仮象（Scheinen）の背後に潜む本質（Wesen）を垣間見ているのです。この講座では、私自身の今までの研究に基づき、仮象の背後に潜む本質を明らかにし、論文にまとめる手法をお話ししたいと思います。

論文講座Ⅱ．（量的研究） 担当講師名 佐々木美恵

勤務校：埼玉学園大学人間学部

最終学歴：筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻博士後期課程

博士論文：東日本大震災における福島第一原子力発電所事故後の母親および保育者の精神的健康と支援についての研究

研究分野：臨床心理学

主論文：

1. 佐々木 美恵(2019). 地震・放射線災害下保育における幼稚園教諭の精神的健康—レジリエンス要因として保育者効力感に着目した検討— 発達心理学研究, 第30巻第1号, 1-12.
2. 佐々木 美恵(2018). 放射線不安下で幼稚園教諭が感じた保護者の変化についての質的検討— 心理臨床学研究, 第36巻第4号, 458-464.
3. 佐々木 美恵 (2015). 災害下における保育者の支援者機能—地震・放射線災害下で幼稚園教諭が実施した保育の工夫と配慮に基づいて— 埼玉学園大学心理臨床研究, 第2号, 1-11.

【講座へのコメント】

ともに学ぶ立場から、発表者自身の体験や苦労話なども含めて、量的研究に挑む考え方や留意点などをお話しできればと思います。フロアのみなさんと活発な意見交換をできるとうれしく思います。